

神嶽川の河川改修と旦過市場の再整備について (状況報告)

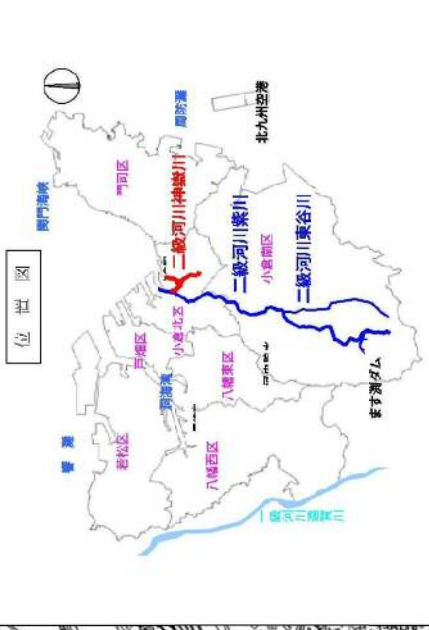
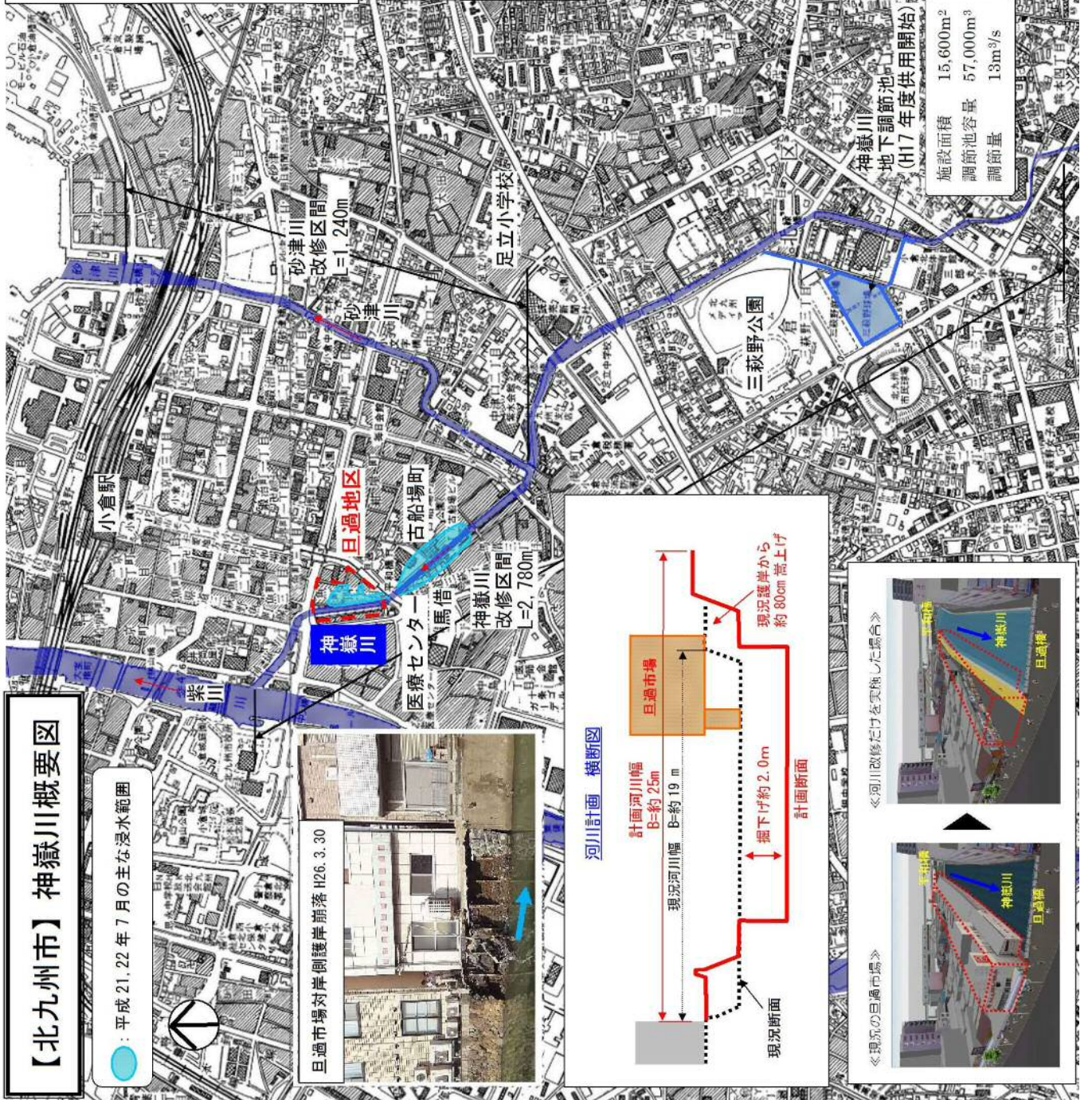
【報告の概要】

1. 神嶽川の概要と近年の経過について
・・・P1～ 2
2. 「旦過地区まちづくり整備計画」について
・・・P3～11
3. 今後について①
「旦過地区まちづくり整備準備委員会」の設立について
・・・P12～15
4. 今後について②
神嶽川改修工事について（市場対岸の護岸工事）
・・・P16～17

【北九州市】神嶽川概要図

●：平成21、22年7月の主な浸水範囲

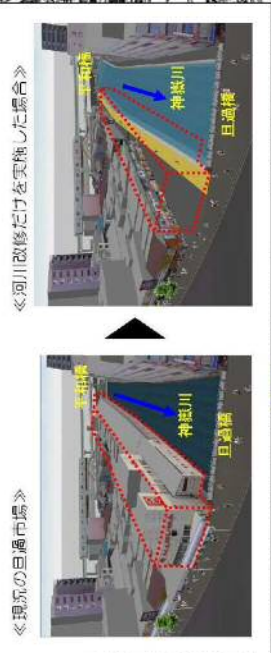
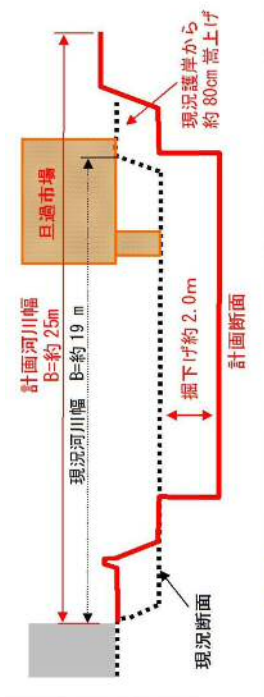
巨過市場対岸側護岸崩落 H26.3.30



【改修計画の概要】

- 河川名：二級河川紫川水系 神嶽川・砂津川
- 流域面積：8.7km² (流域人口約4万人)
- 計画規模：1/50
- 計画高水流量：130m³/s (神嶽川 65m³/s 砂津川 65m³/s)
- 事業名：防災・安全安心交付金 (都市基盤河川改修事業)
- 事業区間：4,020m (神嶽川 2,780m 砂津川 1,240m)

河川計画 横断面



神嶽川 地下調節池 (H17年度供用開始)
 施設面積 15,600m²
 調節池容量 57,000m³
 調節量 13m³/s

近年の経過について

平成 21 年 7 月
／平成 22 年 7 月

2 年連続で旦過市場が浸水
・豪雨により神嶽川から溢水

平成 23 年 12 月

河川上空使用の要望
・市場から「河川改修後に河川上空を市場として利用したい」という要望が市に提出。

※市場関係者
約 7 割賛同

平成 24 年 1 月
～平成 24 年 9 月

国土交通省及び福岡県と協議【北九州市】
・河川改修の緊急性と市場の重要性を考慮し、一定の条件を満たすことで、河川上空を使用できる見通しに

平成 24 年 10 月
～平成 25 年 9 月

旦過地区まちづくり勉強会
・市場関係者の有志と市関係部局等で組織
・旦過地区の将来像を示した
「まちづくり構想」策定
※毎回、通信を作成し、全関係者に配布

←全 10 回開催

環境建設委員会報告
平成 25 年 10 月 7 日

平成 26 年 7 月
～平成 27 年 4 月

旦過地区まちづくり整備計画(素案)検討委員会
・構想実現化のための「整備計画(素案)」を取りまとめ(市場代表、市関係部局等)

←全 11 回開催

平成 27 年
4 月 22 日

旦過地区まちづくり整備計画(素案)報告会
・市場関係者約 200 名に案内状送付
・「整備計画(素案)」の報告

平成 27 年 5 月
～平成 27 年 6 月

市場組織(3 団体)の総会
・「旦過地区まちづくり整備計画」と「旦過地区まちづくり整備準備委員会」設立の承認を得る

平成 27 年
7 月 8 日

旦過地区まちづくり整備準備委員会
・整備計画でとりまとめた 5 つの施設計画案 1 案に絞り込む(再整備案の決定)
・事業主体となる組織の立ち上げ

今年度中に
1 案に絞り込む
予定

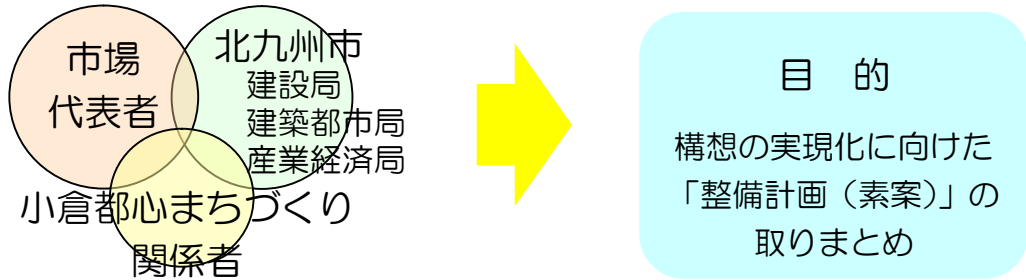
2. 「旦過地区まちづくり整備計画」について

市場の方向性をまとめた「旦過地区まちづくり構想」(H25.9)の実現化を目指し、市場代表者・小倉都心まちづくり関係者・市関係部局で11回に亘る検討を重ね、5つの施設計画(案)を取りまとめたものです。

(1) 旦過地区まちづくり整備計画（素案）検討委員会

市場代表者、市、小倉都心まちづくり関係者で組織し、様々な検討を行いました。

検討委員会イメージ



(2) 市場再整備の方針

構想の実現化には、社会的動向や客の現状把握が必要であると考え、それら进行分析した再整備の方針（案）を検討しました。

■ 今後のお客様（ターゲット）

- ・現在の客層は、60歳以上の方が約6割
- ・社会動向を踏まえると、長期的には新顧客の取り込みが重要。

| 短期 | 中期 | 長期 |
|--|---|---|
| 市場周辺居住者 ・モルル利用者 ・医療センター従業者 ・周辺の居住者 | 短期ターゲット + 子育て世代等 ・イベント客や 観光客 旦過ファン育成 | 中期ターゲット + 市外からの 観光客 ・市外の観光客 ・海外(アジア) の観光客 |

■ 再整備の方針（案）

地域のお客様にとって魅力的な市場 ⇒ 観光客の取り込みにもつながる

- ① 旦過らしさの維持継続 ・ ・ ・ ・ 雰囲気 ・ 対面販売等、現魅力の継続
- ② 交通環境の強化 ・ ・ ・ ・ 駐車場の整備 ・ モルルとの接続等
- ③ 来場目的を増やす ・ ・ ・ ・ 魅力を高める新しい施設の整備

(3) 市場の魅力をもつ新しい施設 ①

- 集客力の向上が期待できる新しい施設について検討しました。
- お客様や商店主の意見からも、「駐車場や飲食ができる場所があると良い。」という意見が多く集まりました。

| | 広場 (イベント・休憩) | フードコート (飲食場所) | 駐車場・駐輪場 | その他施設 |
|----|--------------------------|--------------------------------|---------------------|---|
| 目的 | イベント等を実施し、新規顧客を開拓 | 飲食機能の強化により新規顧客を開拓（且過市場の食文化を発信） | 利便性の向上 子育て世代の集客 | 市場との相乗効果による魅力向上 ※日用品販売・子育て支援等、生鮮以外でも集客 |
| 規模 | 50～100 m ² 程度 | 100席程度 | 駐車場：約100台 駐輪場：適宜 | |



広場イメージ
(イベント時)



その他施設イメージ
(スーパーなど)



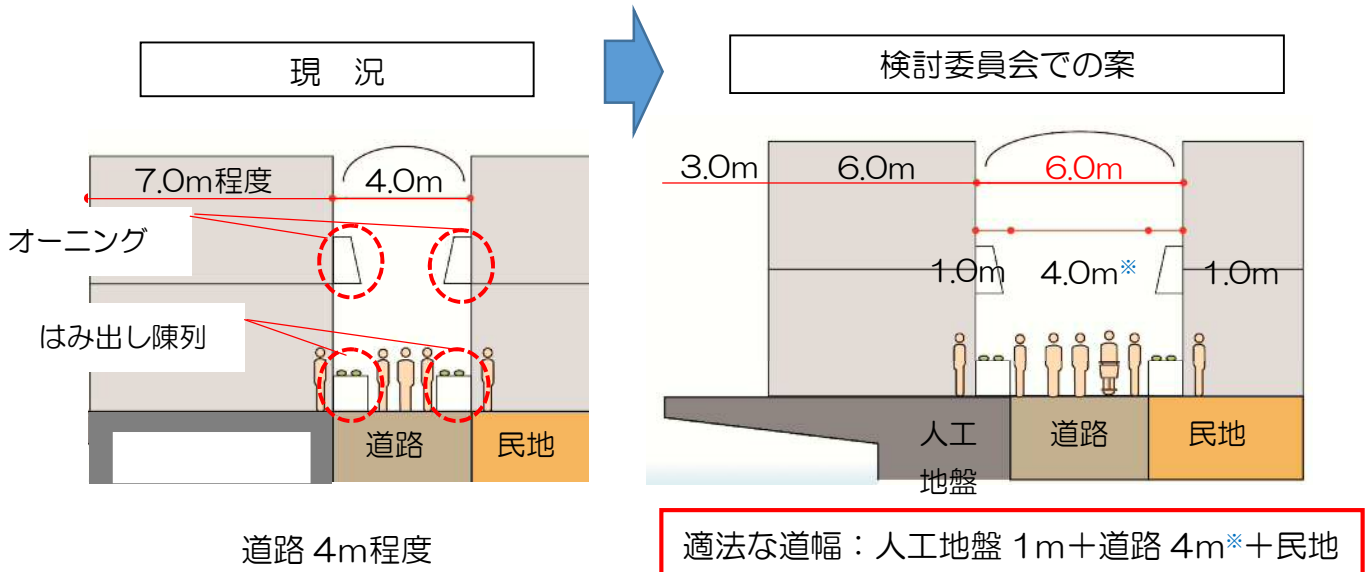
飲食できる場所：フードコート
(高知 ひろめ市場)



飲食できる場所：店先
(金沢 近江町市場)

(3) 市場の魅力をもつ新しい施設 ②

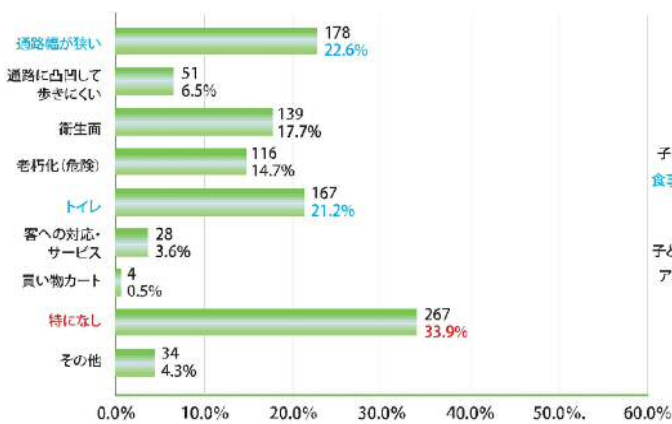
現況の「市場通り」は、レトロな雰囲気のある通りになっている反面、幅員が狭く、道路上への陳列は適法ではありません。法令を満たしつつ、賑わいを演出する通りを考えました。



【参考】来場者アンケート結果

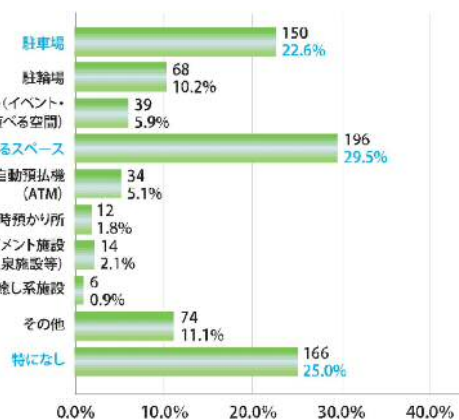
改善点 ※複数回答 N=787

●「通路幅が狭い」、「トイレ」の割合が高くなっています。



あると良いと思う施設 ※複数回答 N=665

●「食事のできるスペース」、「駐車場」の割合が高くなっています。



(4) 工事期間中の対応について

工事期間中は、一時的に別の場所で営業する必要があります。
 旦過地区外の空きスペースを整理するとともに、仮営業場所として
 地区外と地区内のどちらが望ましいか検討しました。



| 旦過市場周辺空きスペース | 敷地面積 |
|----------------------|---|
| ① 小倉ホテル跡地 (駐車場のみ) | 約 2,700 m ² (約 880 m ²) |
| ② ベスト電器跡地 | 約 1,400 m ² |
| ③ 魚町銀天街火災跡地 | 約 960 m ² |
| ④ 旦過パーキング | 約 900 m ² |
| ⑤ 商工貿易会館前広場 | 約 600 m ² |

※それぞれ候補地として挙げたもので、関係者とは未調整です。

※現市場面積は、約 7,670 m²。うち営業店舗面積は 3,560 m²

- 期間や費用は、地区外+地区内の方が有利です。
- 地区内・地区外それぞれに、メリット、デメリットがあるため、決定に至っていません。
- いずれにしても「**仮設営業期間の短縮**」が望まれています。

(5) 5つの施設計画(案)について

- 50年、100年先を見据えた「市場再整備・まちづくり」へ
- これまでの検討を踏まえ、5つの施設計画(案)をまとめました。
- 大きくは、人工地盤を造る(案)と造らない(案)の2種類に分けられます